

肝炎ウイルス 検診

40歳以上※

※過去に受診していない人



集団 または 個別

特徴 肝臓がんの原因の約80%はB型・C型のウイルス性肝炎です。

血液検査

(HBs抗原・HCV抗体)

血液中のHBs抗原・HCV抗体を調べる検査です。HBs抗原検査はB型肝炎ウイルスの感染を、HCV抗体検査はC型肝炎ウイルス感染を調べます。

肝炎ウイルスの結果が陽性であった場合は、フォローアップ事業として初回精密検査・定期検査費用の助成を県から受けることができます。

【問合】静岡県東部保健所 地域医療課
(055-920-2109)

前立腺がん検診

50歳以上



集団 または 個別

特徴 老化とともに発生率が高まります。

血液検査

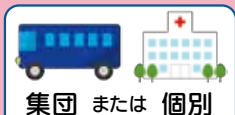
(PSA値)

血液中のPSAの量を調べます。50歳で4ng/ml以下が標準値とされています。ほかの臓器では数値は変わらず、前立腺に異常があると高くなります。

乳がん 検診

30歳以上※

※昨年受診していない人



集団 または 個別

特徴 乳がんは女性がかかるがんの中で最も多いので、定期検診とセルフチェックを欠かさずに！40歳以上の人は、国の指針で推奨しているマンモグラフィ検査を受けましょう。

乳がん検診は
2年に1回

エコー検査

(30~49歳)

診察台の上に横になり、乳房に超音波を当てて病変があるかを検査します。乳腺濃度に関係なく、リアルタイムで気になるしこりの内部まで観察できます。

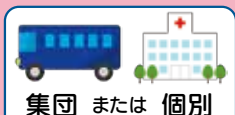
マンモグラフィ検査

(40歳以上 ※40~49歳は選択制です)

乳房を専用の装置ではさみ、X線で撮影します。若く乳腺が発達した女性で、がんが見つかりにくいデメリットがあります。検査時に乳房を平たくつぶして撮影するため若干痛みを感じますが、月経前の1週間を避けると痛みが軽減します。
※授乳中・卒乳1年程度は受けられません。

子宮頸がん 検診

20歳以上



集団 または 個別

特徴 子宮頸がんは20~40歳代前半に急増中です。初期段階では自覚症状がなく、ある程度進行してから不正出血などの症状があらわれるため、定期的に検診を受けて早期発見・治療をすることが大切です。


内診・細胞診検査

子宮の入り口あたりを柔らかいブラシ等でやさしくこすって細胞を採取し、異常がないか調べる検査です。がんになる前の病変で発見できるため、子宮頸がん予防に非常に有効です。

- おすすめの検診スタイル
ゆったりとしたスカート、すぐに履ける靴、着脱が楽な靴下、丈が長めのブラウス等
- 月経中は検診を受けられません。

がん等の検診

胃がん検診

35歳以上 



特徴

胃がんは、自覚症状が現れにくく、日本のがん死亡の上位です。胃部X線検査及び胃内視鏡検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があります。

胃X線検査 (バリウム)

バリウム(造影剤)と胃を膨らませる発泡剤を飲み、X線で胃の形や粘膜を撮影する検査法です。胃潰瘍やポリープが見つかることもあります。


今年度
年齢拡大

胃内視鏡検査 (55歳以上選択制)

カメラのついた管を鼻や口から挿入し、胃の中を直接観察する検査法です。一部保険診療で、組織の一部を採取して、がん細胞の有無を調べる場合もあります。検査方法については、予約時に各医療機関にご確認ください。

※前夜9時以降は飲食せずに検診を受けてください。

大腸がん検診

40歳以上 




特徴

大腸がんの死亡率は男性3位、女性は1位で男女ともに高くなっています。早期には自覚症状がないので、異常を感じる前に、検診を受けて早期発見をしましょう。検診を毎年受けると大腸がんの死亡リスクは60～80%低下します。

便潜血検査 (採便2日法)

- ①採便容器を検査を受ける医療機関では事前に、または集団健診会場では受診当日に受け取ります。
- ②容器に同封の、「便の正しい採り方(2日法)」に従い、検体(容器)提出予定の数日前から便を取ります。(保管は冷暗所)
- ③個別医療機関または、集団健診会場に検体を提出してください。

肺がん検診

40歳以上 



特徴

肺がんの日本人のがん死亡率は第1位で、年間7万人以上の方が亡くなっています。治りにくいので、毎年受けて早期発見することが重要です。

胸部X線検査

胸部にX線を照射して肺を撮影します。異常がある場所が白く映ります。

※肺がん検診は直接撮影法、結核検診は間接撮影法です。

喀痰細胞診検査

(喫煙指数600※以上もしくは希望者)

痰を採取し、そこに混入するがん細胞の有無を調べます。

※喫煙指数=1日に吸うタバコの本数×喫煙している年数

気になる症状があれば検診を待たずに受診して!



がん検診は毎年(乳がん検診は隔年)継続して受けましょう!